龍谷大学校友会報

※題字＝星野元豊・第9代学長

Ryukoku Univ. Alumni News No.74

〔校友総数　155,132名〕
2012年（平成24）3月10日
第74号
発　行＝龍谷大学校友会
編集＝校友会広報部会
http://www.ryukoku.ac.jp

京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学内
校友会事務局
TEL075-645-2015
FAX075-645-2017
郵便番号612-8577

龍谷賞に陶芸家の清水保孝さん……2面
石川・福井・鳥取に校友会支部誕生……3面
貴重書の宝庫・大宮図書館……4面
追悼・児童文学者の中川正文さん……5面
龍谷大学校友会地域支部一覧と行事予定……6面
学部同窓会と地域・職域支部の集い……7面
仏教に学ぶ・校友のお店……8面

大震災の東北３県在住の校友らに

宇治茶を贈るなど支援

校友会

東北へ贈られた龍大生の宇治茶「雫」とボランティアに参加した学生たちからの多数のメッセージ

復興願い卒業生や学生も多様な活動

東日本大震災からすでに1年を迎える。しかし復興への道のりは、まだまだ険しい。龍谷大学ファミリーは建学の精神のもとに、さまざまな支援活動を行ってきた。

校友会では被災地の校友を想い、見舞品として、経済学部の伊達浩憲教授のゼミ生が企画栽培から製茶、販売まで手がけたオリジナル宇治茶（抹茶入り煎茶）「雫（しずく）」を、2月に東北3県在住の校友や学生の自宅に送付した。販売元は本願寺の藪内流家元御用達の㈱美好園。また、お茶と共に東北での支援の催しの時期や企画案についてのアンケート用紙を同封し、校友会としての今後の復興支援のあり方を見定めていく。また3月4日には、大学が中心となって宮城県南三陸町で、龍谷大学の吹奏楽部と地元中学校とで演奏会を開催した。

被災地で瓦礫を撤去する龍大生（写真提供ボランティア・NPO活動センター）

昨年から続く復興支援活動では、龍大生たちの動きに目を見張る。大学のボランティア・NPO活動センターを拠点とし、5回にわたってバスで宮城県石巻市などに向かい、瓦礫処理などにたずさわってきた。この他にも京都のNPOの支援プロジェクトに加わり、避難所の環境を調査した学生たち、現地には行かず、3キャンパスで福島県の物産品を販売したり、京都に避難してきた子どもたちのための「東北子ども会」を立ち上げて支援活動を続けている学生たち。頼もしい限りだ。

自作の歌ではげます

一方、校友会や各地の卒業生も素早く動いた。昨年3月の同窓会入会歓迎会では義援金435万円が集まり、震災直後に被災地に入って支援を続ける校友や、被災しながら現地に留まって活動する校友。腕輪念珠作りや、自作の歌で復興支援をする、やなせ ななさん（99年文卒）や三浦明利さん（11年文院了）など、その活動は多岐にわたっている。（5面に関連記事）

地道な活動を継続

95年（平成7）の阪神淡路大震災時には校友会と大学、親和会（保護者会）が力を合わせ、9月に神戸ベイシェラトンホテルで激励会を開き、約1200人の被災地校友や家族が集った。今回の大震災の復興は長期にわたると予想されている。校友会も今後、長く地道な復興支援を継続する事が大切だと考える。

刊行された『龍谷大学戦没者名簿』

追悼法要に遺族ら250人参加

龍谷大学戦没者名簿

在学生も協力　301人を紹介

念願の発刊

2011年度ホームカミングデーの11月6日、深草キャンパス顕真館で戦没者追悼法要がつとめられた。この法要には、全国各地の戦没者遺族をはじめ、校友や名簿作成協力者など約250人が参拝した。また、龍谷大学創立370周年記念事業の一つとして『龍谷大学戦没者名簿』が刊行された。

こうした一連の動きのきっかけとなったのが、日野照正さん（44年文卒）が03年（平成15）に発表した論文「検証・龍谷大学の学徒出陣」だ。自ら学徒出陣した日野さんは、戦地で亡くなった龍大生の記録を残すため、3年にわたって調査。さらに08年に急逝された平野孝法学部教授が学徒出陣調査を行った。こうした経緯を経て上梓されたのが、平和の精神を学ぶための『龍谷大学戦没者名簿』だった。ここではアジア・太平洋戦争で亡くなった卒業生・在学生など301人を紹介すると共に、10月28日から11月6日まで展観「戦争と龍谷大学」を開き、600人あまりの来場者が戦前・戦中期の大学アルバム、教科書、授業ノート、日記などの遺品と資料展示に見入った。

なお、龍谷大学では、引き続き当時の大学生活が偲ばれる遺品や資料を蒐集中。

強固なネットワークを

三村峯男校友会会長

第2回目となる「龍谷大学経営者ビジネスミーティング」が昨年の10月28日、ザ・リッツカールトン大阪で開催された。72人の校友経営者と大学・校友会スタッフあわせて105人が一堂に会した。

まず赤松徹眞学長が龍谷大学第5次長期計画の、あるべき「龍谷2020」構想を説明し、卒業生との連携強化を訴え、強固なネットワーク構築によってこそ、今後の龍谷大学の発展があると述べた。この赤松学長の発言は、校友会がこれまで大学に伝えてきたことと重なる。龍谷大学が総合大学化して、昨年で50年を超えた。卒業生は15万5千人。校友がトップに立つ企業・団体は約1千社。この存在は、母校に対する強力な応援団である。

ただ一方では、折からの経済不況、超円高によって就職氷河期からの脱出のめどは立たず、学生たちは必死な思いで就職活動に取り組んでいる。

今、校友会は、各地の校友の集いで後輩学生たちを、自ら経営・勤務している会社で採用していただきたいと、呼びかけている。

そのためには社会に出て「さすがに龍大出身」と評価される学生を、大学は育て送り出してもらわなければならないし、ブランド力のより一層の向上が必要である。第5次長期計画では、教育と研究の充実が最大の目標だと表明されている。校友会も後輩学生の就職支援に積極的に取り組むと共に、校友会支部のない地域で支部設立を進め裾野を拡大してゆくことがが急務だ。今年2月に鳥取県支部が誕生した。関東をはじめ、復興が間近になった時期には、東北での支部設立が望まれる。ただ地域で卒業生が集うだけではなく、互いに情報交換をしながら、生きる力を育み、互いに高めあう場でなければならない。

全国的な卒業生のネットワークの構築と発展は龍谷大学、校友会に課せられた大きなテーマでもある。

経営者ビジネスミーティング

4月開設の臨床心理学科

25倍を超える志願者

文学部の臨床心理学科が4月1日から開設される。1月の一般入試A日程では24人募集に対して817人が、B日程では21人に対し462人が受験するなど、予想をこえる受験生が志望した。募集定員は92人だが、志願者はすでに2367人に達している。人間関係が複雑化する今日、臨床心理学にもとづく対人援助教育に多くの高校生の注目が集まった証拠だと言えよう。大学院に進めば臨床心理士の受験資格を得られるのも魅力のひとつ。

また文学部では従来の「史学科」が「歴史学科」に改められ、前年比を大幅に上回る受験生が集まった。このように龍谷大学の既存学部、学科は時代のニーズを先取りし、過去に安住することなく積極的に改変していくことが切に望まれる。

最新情報をお知らせ下さい

皆様の最新情報（新しい住所・勤務先、改姓など）をお知らせ下さい。また、ご友人でこの会報が届いていない方にも、その旨お知らせ下さい。

ご通知は下記のいずれかで
①FAX＝（075）645-2017（本会報送付宛名用紙をご利用下さい）
②https://www.ryukoku.ac.jp/koyu_form/
③e-mail=koyu@ad.ryukoku.ac.jp
④郵送＝本会報送付宛名用紙の「郵便はがき」をご利用下さい

第22回龍谷賞　晴れの贈呈式

龍谷賞

陶芸家の清水さん
亀遊文用い優れた作品

贈呈式で右から鍵井さん、清水さん夫妻、佐々木さんとご家族

龍谷奨励賞
水中写真家　**鍵井さん**

龍谷特別賞
柔道指導者　**佐々木さん**

22回目を迎えた龍谷賞の贈呈式が、昨秋11月6日のホームカミング・デーに合わせ、顕真館で正午から開かれた。今年度の龍谷賞は、陶芸歴40年の清水保孝さん（70年文卒）に贈呈。99年には「鉄釉亀遊文掛分扁壺」が駐日フランス大使館に所蔵され、09年に「日本工芸会賞」を受賞。「京都府指定無形文化財」保持者でもある。

次に龍谷奨励賞は、世界をフィールドとして活躍する水中写真家の鍵井靖章さん（93年法卒）に贈呈された。兵庫県出身の鍵井さんは93年にオーストラリアやモルジブに拠点を移し、98年に水中写真家として独立。昨年、全国各地で開催されたユニセフ東日本大震災報告写真展に出品。

また、龍谷特別賞に柔道指導者の佐々木法水さん（68年文卒）が選ばれた。佐々木さんはアフリカ南部のジンバブエ共和国の柔道ナショナルチームを36年間にわたって指導し、文化交流に貢献。全日本柔道連盟国際委員会のメンバーでもある。一昨年、66歳で講道館8段に。

清水さん

鍵井さん

佐々木さん

《受賞者のコメント》

清水保孝さん　私は今、陶芸の道を志して40年を経過し、65歳（昨年）です。しかし、焼物の道に定年はありません。一生、この焼物の道にたずさわっていく所存です。

鍵井靖章さん　在学中に水中写真家を志して卒業後20年たった僕を、大学がこのように認めて下さったことに感謝しています。今後もがんばりますので、僕の作品を見て下さい。

佐々木法水さん　たかだか40年ほどアフリカで柔道指導しただけなのに、特別賞をいただきありがたく思います。

龍大の柔道部は段々強くなってきました。後輩たちの活躍ぶりが楽しみです。

プロフィール

清水保孝（しみず・やすたか）さん　70年（昭45）文学部史学科卒。京都市東山区在住。陶芸家。父の卯一氏（人間国宝・故人）の指導のもと、現代感覚の優れた作品を発表し、91年に第2回龍谷奨励賞、09年には日本工芸会賞を受賞。現在、公益社団法人日本工芸会近畿支部幹事長としても活躍中。11年3月「京都府指定無形文化財」保持者に認定される。氏のライフワークである亀遊文を用い、三彩釉・鉄釉白掛分け・鉄釉、そして近年は色絵も手がける。

鍵井靖章（かぎい・やすあき）さん　93年（平5）法学部法律学科卒。神奈川県鎌倉市在住。水中写真撮影家。大学在学中から水中写真家の伊藤勝敏氏に師事する。月間ダイバーなどの専門誌・週刊誌などの取材活動と写真家の共同ウェブマガジン「WEB-LUE」に参加。06年8月「情熱大陸」等でTV・ラジオなど様々なメディアを通じて情報を発信。世界中の海洋の神秘と表現される水中撮影を行う。写真集に『海色えんぴつ』（PHP研究所）、『Deep Blue』（欧米などで出版）など。

佐々木法水（ささき・ほうすい）さん　68年（昭43）文学部国文学科卒。熊本県熊本市在住。柔道指導者。在学中は柔道部に所属し、卒業後京都府警に勤務しながら青年海外協力隊員としてザンビアの警察官に柔道を指導したことがきっかけとなり、36年間ジンバブエ共和国でナショナルチームの監督をつとめる。また文化交流と友好親善に貢献。10年11月、66歳で講道館8段に列せられる。

新学部構想に注目
第27回全国支部長会

第27回校友会全国支部長会が11年11月5日、京都ロイヤルホテル&スパで開催された。＝写真＝国内の地域支部、海外支部、職域支部、校友会本部役員、大学からは赤松徹眞学長、佐藤研司・池田勉両副学長らのべ85人が参加して、午後1時から約5時間にわたって校友会活動や大学の動向について意見を交換した。

まず三村校友会長と赤松学長の挨拶のあと、佐藤副学長が大学の近況を報告。2010年からスタートした龍谷大学第5次長期計画の概要説明を中心に、国際文化学部の深草移転計画と、それに伴う瀬田キャンパスでの新学部構想などが報告された。

次に昨年9月に設立された石川県支部と福井県支部の代表が設立の経緯などを報告し、（3面に記事）、校友会支部活性化に向けての報告を大阪・中央、大阪・北大阪、神奈川県及び海南・有田の4支部が行った。

また、神奈川県支部では、ハワイ支部との交流会を企画し、他地域の校友にも広く参加を呼びかけている。（詳細は7面）

その後、校友会の11年度基本方針や広報・総務・事業部会の取り組みについて報告と質疑応答が行われ、全国支部長会の幕を閉じた。

校友と再会 先生と歓談
'11ホームカミング・デー

ホスピタリティールームでの歓談
地域支部からの参加も目立った

学生の模擬店でにぎわうキャンパス。親子連れの姿も

2011年に開設50周年を迎えた深草キャンパスでは11月6日、校友会と大学・親和会（保護者会）によるホームカミング・デーと、第89回目となる龍谷祭（学園祭）で、多数の卒業生や学生で賑わった。

ホームカミング・デーでとくに盛況だったのが紫英館6階のホスピタリティールームでの歓談。卒業後20年以上の校友が、ゼミやクラスの仲間や先生方と再会したり、校友会地域支部のメンバーが相集っての明るい声がルーム内に響きわたった。

ホームカミング・デーの人気ランキングNo.1と言えば、龍谷賞贈呈式のあと顕真館で開催される吹奏楽部とバトン・チアSPIRITSのライブである。全国の大学でトップクラスの演奏とバトン・チアの溌剌とした演技に大きな拍手がおくられる。

次に校友会員と親和会に限定した「西本願寺書院・飛雲閣見学ツアー」（昨年は14時にバスで深草キャンパスを出発）も好評だ。ただ先着50人に限られるので、早めの申し込みが必要。

深草キャンパス正門の南側21号館前で受付と共に配布される学生模擬店利用券（千円分）。学生によるファーストフードを口にするのも、ホームカミング・デーの“目玉”のひとつ。法学部の全卒業生対象の合同同窓会「リユニオン」は、今年度も17時から開催された。

なお、瀬田キャンパスのホームカミング・デーは、例年通り一週間早い10月29日の土曜日に開催された。

東日本大震災の支援活動へ意見
11年度校友総会

11月6日（日）午前11時から深草キャンパス顕真館で校友総会が開催された。この日は初の戦没者追悼法要（1面に記事）や深草キャンパス開設50周年記念式典など、大きな行事が開催されたことから、校友総会は通常より30分遅くスタートした。

三村峯男校友会長の挨拶から始まり、町田徳男校友会総務部会長によって2010年度の事業、決算報告、大西耕太郎監事による監査報告。続いて2011年度の事業計画と予算説明が行われた。

質疑応答に入り、一般の校友が大学に想いを伝えることができる場の設定についてや、国際文化学部の深草キャンパス移転への質問が出たが、この日は東日本大震災に関する話が中心となった。龍谷大学校友会は今後どのような支援活動をする予定か、卒業生としていったい何ができるのかと、参加校友と校友会本部スタッフが互いに意見交換をした。

（支援活動については1面参照）

3支部が誕生

昨年9月、石川県と福井県に、今年2月、鳥取県に校友会地域支部が誕生した。龍谷大学の校友会支部は全部で46支部となった。時期を合わせて龍谷大学と地元中学・高校の吹奏楽部による「東日本大震災チャリティージョイントコンサート」が金沢市と福井市、倉吉市で開催された。この合同演奏会は地元の県吹奏楽連盟や新聞社、テレビ局が後援したことから多数の市民が演奏会場につめかけ、「龍谷」の名が北陸や山陰の地に響き渡った。

設立への会合重ね

石川県支部

1000人の校友に案内状

11年9月19日、JR金沢駅前のホテル日航金沢を会場に開催された。弘崎信正さんの司会のもと、三村峯男校友会長が祝辞を述べ、赤松徹眞学長が「15万人の卒業生と共に手をたずさえて母校を盛り上げていこう」と挨拶。続いて降矢恭史さんが支部設立の呼びかけ人を代表して経過報告した。県内には現在、約1千人の卒業生が在住、設立を呼びかける案内状を送付し多数の賛同を得た。そこで6月25日に支部設立準備委員会を結成し6回にわたって会合を重ねて石川県支部設立へと導いた。

まず松浦顕雄さんが議長となり議事を進行し、①規約②石川県支部役員③事業計画・予算案が審議可決。新しい支部旗が三村校友会長から手渡されたあと、初代石川県支部長の日野幹丸さんが、「素晴らしい人々に恵まれたおかげです。若い校友も多く、石川県支部の未来は明るい」と述べた。引き続き佐藤研司副学長による記念講演「これからの龍谷大学」が行われ、昨春に誕生した「政策学部」に続く10番目の新学部構想を披露し、「前進する龍大」を印象づけた。

懇親会に移って会場となったホテル日航金沢総支配人の呉服弘晶さん（79年済卒）が、たまたま校友であったことから飛び入りで祝辞を述べるサプライズもあった。

《主な役員》支部長＝日野幹丸（62年文）。副支部長＝北野俊裕（82年文）・松浦顕雄（83年文）・降矢恭史（88年法）。事務局長＝弘崎信正（72年文）。事務局＝新保勝也（96年文）・須加晃太郎（97年法）・北川裕梨（01年短）。会計＝内田宏丸（81年法）。監事＝三尾秀弘（72年営）・谷間徹誠（67年文）。理事＝桜井昌（68年済）・萩原聡彦（00年国際）他9人。

石川県支部設立に集った校友

春からの準備奏功

福井県支部

設立総会に約100人参加

石川県支部設立の一週間後の11年9月24日、福井県支部が産声を上げた。福井駅前のユアーズホテルフクイを会場に、午後4時から設立へ向けての総会が開かれた。設立の発起人を代表して藤原有仁さん（北陸高校校長）が設立趣旨と経過を披露。支部設立の願いが具体的になったのは11年3月のこと。大学からの働きかけをきっかけに、校友会から県内の校友約1600人に支部設立へのアンケートが送付され、戸川慎吾さんを中心に、何度も会合を開いて設立準備が進められた。

設立総会では藤下洸養さんが議長となり、会則・規約案、支部長と役員選出、事業・予算案を検討した上で承認された。支部長に就任した藤原有仁さんは「さらに多くの校友に入会していただけるよう努力すると共に、校友の絆をますます強めて、母校の発展に寄与したい」と抱負を述べた。

続いて三村峯男校友会長が「龍大生の評価は一見地味だが、ここぞというときに、重要な事柄をまかせられる」と話して祝辞を述べた。来賓の佐藤研司副学長は、「龍谷大学で学び、卒業したあと安心して福井県に帰って就職できるよう、就職支援を福井県支部の校友の皆さんにご協力いただきたいたい」と校友に訴えた。

設立総会終了後の記念講演では、県立福井商業野球部前監督の北野尚文さんがスライド映像と共に、42年間の監督生活を振り返りながら、貴重な体験談を語り、「人間的成長なくして野球は上達しない」と締めくくった。福井県支部の設立総会懇親会に参加したのは約100人の校友。中でも女性の姿が目立った。

《主な役員》支部長＝藤原有仁（70年文）。副支部長＝野世孝雄（69年済）・戸川慎吾（70年営）・一乗康純（82年文）。代表理事＝酒生仁弥（85年法）。監事＝花山昭道（57年文）・岡崎賢（72年文）。顧問＝北野尚文（68年済）。副代表＝大森幹夫（78年法）・川崎嘉久（82年済）。会計＝芝満夫（95年文）・吉田純也（04年法）。事務局＝馬場正大（86年文）他2人。理事＝吉川明博（79年営）・藤田秀樹（06年営）他10人。

福井県支部設立に集まった校友

倉吉市で設立総会

鳥取県支部

平井知事も連携を呼びかけ

2月11日、鳥取県倉吉市のパークスクエアで、龍谷大学校友会鳥取県支部の設立総会が開かれた。県下には約700人の卒業生が在住し、アンケートを送付したところ多数の賛同が得られた。そこで若原道昭前学長や衣笠告也さん（75年文卒・支部長）ら14人が準備を進め、校友会では職域支部も含め46番目の支部が誕生した。

鳥取県と龍谷大学とは、2010年7月に就職支援を中心とした「鳥取県と龍谷大学との連携に関する協定」を締結し、これまで「就職支援に関する事業」「世代を越えた交流事業」「社会貢献事業」など、さまざまな連携事業を行ってきた。

設立総会に出席の平井伸治鳥取県知事は、「地域と大学・校友会が一体となった取り組みを進めよう」と祝辞を述べた。この日、開催の県・大学主催「吹奏楽フェスタin鳥取」では鳥取県支部の校友も積極的に広報活動を行い、ホールは超満員で1500人をこえる来場者で賑わった。

《主な役員》支部長＝衣笠告也（75文）、副支部長＝福田正志（78営）、松本晴之（79営）。常任理事＝西村耕一（97社）、加藤周二（01済）。理事＝衣笠千秋（83文）、松井良介（02営）、山上領太（10済）。監事＝加藤彰（83法）、竹内寛（92済）。顧問＝若原道昭（前学長）。

鳥取県支部設立総会での校友

倉吉未来中心大ホールで演奏する龍大吹奏楽部。県下6高校生も出演

〝就活〟情報の共有を

大学と校友会役員が懇話会

龍谷大学と校友会との懇話会が1月26日、深草キャンパスで開催された。＝写真＝参加したのは赤松学長以下、大学執行部17人と校友会役員12人。

校友会側から支部の情報を活用してほしいと大学に提案。これに対して大学は校友会の地域・職域支部のネットワークを、学生支援のために積極的に生かしてゆきたいと回答。

具体的には校友会と大学のキャリア開発部・REC（エクステンションセンター）・情報メディアセンターが連携して、校友と学生の情報を共有して役立てるという。さらに大学が第5次長期計画を進める中で、校友会に対して国内と海外に幅広く地域支部を結成し、龍谷大学の裾野をさらに広げてほしい旨の要請があった。

懇話会ではこの他、東日本大震災地区への今後の支援活動や、11年4月の文部科学省令による教員の教育・研究の情報公開義務化での問題点について話し合われた。

深草で開催された懇話会

龍谷ミュージアム

特別展・企画展ご案内

◆春期企画展
「良如宗主と龍谷大学の歩み」
2012年4月6日(金)～4月18日(水)11日間
※2階展示室にて開催

◆春期特別展
「仏教の来た道～シルクロード探検の旅～」
❶「仏教の源流」❷「西域の仏教文化と多様な宗教」❸「中国への伝播」❹「西域の文字と言語」❺「大谷探検隊と仏教伝播の道」
2012年4月28日(土)～7月16日(月)71日間

◆秋期特別展
「歌あり、涙あり、笑いあり『絵解き』
－仏教絵画のエンターテイメント（仮題）」
10月～11月（予定）

開館時間は10：00～17：00（16：30までに入館）。休館日＝月曜日（祝日の場合は翌日）他、展示替え等の休館。事前にHPなどでご確認を。
TEL075-351-2500
http://museum.ryukoku.ac.jp

シリーズ 龍谷大学の歴史実証③

貴重書の宝庫

江戸時代から併設 大宮図書館

前号まで、龍谷大学が連綿と途切れること無く継続され、すべての記録が残っている大学としては、日本最古の大学であると述べてきました。

今回は、その付属する図書館についても大学の創設とほとんど同時期から存在していたという話や、それに纏わるエピソードをおりまぜて述べる事にいたします。

362年前に蔵書

龍谷大学大宮図書館の現在の建物は、1936年（昭和11）に新築されたものですが、それ以前の龍谷大学が學寮・學林・大教校・大學林・仏教大學と変遷してゆく中で、かならず図書館を併設してきました。

龍谷大学の歴史を克明に記録した「學寮造立事」には「1649年（慶安2）銀400両をもって書籍50～60部を購入し、衆寮を建て施入する」とあり、1652年（承応元）には、蔵書を管理する専門の係「捨頭」を置き、1655年には、既に資料の収集や提供という今日のような図書館機能を持っていたことが記録されています。

「1747年（延享4）蔵書94函あり、収蔵庫を『転輪蔵』と称する」とあり、専用の「蔵」を有し、その管理係に「蔵司」を置いています。さらに、1784年（天明4）には『龍谷學黌大蔵目録』が完成しており、この時点で蔵書4，699部を所蔵しているという記録があります。

その後、1892年（明治25）と1904年（明治37）の二度にわたって、当時の大學林に本願寺歴代宗主の蔵書であった「寫字臺文庫」計3万冊が寄贈され、本学大宮図書館は、120年前から世界最大の仏教図書館として機能してきたのです。

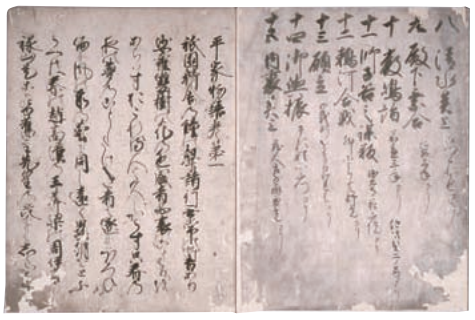
底本となった『平家物語』

この永い歴史の中で本学図書館が所蔵する「稀覯書」と呼ばれるものにはどのようなものがあるのか、数多くの所蔵するものの中から広く知られているものを以下で紹介したいと思います。

まず、鎌倉時代に作成されたと伝えられる『平家物語 全十二巻』の室町初期の写本です。江戸時代中期に杉田玄白と前野良沢が苦労の末に発刊した『解體新書全五巻』の初版本も所蔵されていることをご存知でしょうか。

そこでまず『平家物語』ですが、すでに原本はなく、現存するものは国内に6点の写本しかないといわれています。その中で龍谷大学が所蔵するものは、全巻揃っている最古のもので、紙質や筆跡・書体及び墨の成分・注釈等から、最も原典に近いと評価されています。そのため59年（昭和34）2月岩波書店から刊行され、戦後最大の文学大全集と称された『日本古典文学大系全六十六巻』の『平家物語上下二巻』は、この由緒ある龍大本を底本としたことが、冒頭に詳しく述べられています。

この龍大本は、足利尊氏の執事であり、室町幕府の管領となった高師直の邸宅でも語ったといわれる当代随一の琵琶法師・沙門覚一が、640年前の室町時代の1371年（応安4）に書写させたことから、「覚一本」とも呼ばれています。



▲『平家物語』全12巻

『解體新書全五巻』『徒然草』

『解體新書全五巻』は、江戸時代中期1774年（安永3）に170余りが木版で初版刷りされたが、現存し全巻揃っているものでは、緒方洪庵の「適塾」が所有するものなど数点だけで、保存状態も優れていることから、龍大本を筆頭にあげるべきだと言われています。

▲『解體新書』全5巻

さらに吉田兼好が鎌倉時代末期（1330年頃）に著した三大随筆の一つ『徒然草上巻』を所蔵しています。これは室町中期の1490年（延徳2）に平忠重が書写した写本で、江戸時代になって多くが出回ったいわゆる「流布本」と比べ、はるかに歴史的価値が高いものと言われています。

これらの貴重書に加え、国宝の『類聚古集』（平安時代末期に藤原敦隆が編纂し、伏見天皇宸翰署名入りの勅撰和歌集全十六帖）など、多くの重要文化財があります。

このように、多数の稀覯書類を所蔵する大宮図書館ひとつ取り上げてみても、今年で創立373年目を迎える龍谷大学の歴史の重みを、実感していただけると思います。

（つづく）校友会事務局＝増田省三

校友最前線

福島暢啓さん

毎日放送アナウンサー

11年3月に文学部大学院研究科日本語日本文学専攻を修了し毎日放送（MBS）へ入社。アナウンサー室に配属。現在、同社テレビ「ちちんぷいぷい」（月曜日）と、ラジオ「MBSうたぐみ」にレギュラーで出演中。MBSでは3年ぶりの新人アナ。87年宮崎県宮崎市生まれ。

MBS「ちちんぷいぷい」で現地リポートする福島さん

MBS新人アナです！

〈なぜ龍大に？〉

高校生の頃から、将来は日本語の辞書編纂にたずさわりたいと思っていました。そこで龍大へと。龍谷大学の文学部には「日本語日本文学科」があります。私がやりたいそのままの学科名だったからです。

深草・西浦町の下宿には6年いました。学部時代、落語研究会に所属し、授業が大宮に移ったあとも深草から通い、クラブボックスに戻ってくるという毎日でした。卒論や修論のテーマは、いずれも二葉亭四迷などの小説家を中心とした明治言文一致小説の言語についてでした。

〝落研〟では「きぬ乃家じん丹」という芸名でした。もっぱらウクレレ漫談をやっておりました。龍大の先輩と漫才コンビを組んで、M-1グランプリでは準決勝に進んだこともありました。

〈なぜ放送局へ〉

毎日放送には一般職として採用されたのですが、人事面談の中でアナウンサーをやらないかと、もちろん二つ返事でした。

私はずっと〝ラジオっ子〟でして、学生時代もずっと「ラジオ深夜便」なんかを聞いていました。そんなとき『2011年新聞・テレビ消滅』という文春新書を読んで、「あっテレビもラジオもつぶれるのか」と。私はどちらも大好きなので、自分が年寄りになったとき若い人たちに「俺は昔、テレビやラジオにたずさわっていて、こんなことをしていたんだ」と話すことができたら楽しいなと思って、放送局を目指しました。

今は、関西で午後2時55分から放送している「ちちんぷいぷい」の中で、リポーターを担当しています。コーナーでは、祖母も知らないような古い歌を歌うこともあります（笑）。これらの歌もぜんぶラジオにおしえてもらいました。

〈将来は？〉

とにかくラジオが好きなので、ラジオの番組作りにかかわりたいと思っています。

「ちちんぷいぷい」は、もともとラジオの雰囲気をテレビでということから、ラジオ出身のスタッフが手がけたと聞いています。私は、ラジオには放送の基本がつまっていると思っています。

ただ、現在ラジオが衰退の道をたどっているのは事実です。テレビも新聞もこのまま続くのかという声も、よく耳にします。では、メディアはインターネットだけでいいでしょうか。

やっぱりいろんなメディアがあって、それぞれが持つ個性を発揮することが、大切だと思います。ツイッターやフェイスブックだけが「情報化」ではないはずです。

そういう意味でも何とかラジオが残ってほしいし、残したい。

龍谷大学には今後、さらにグレードアップしていただきたいと願っています。龍大の社会的評価が少しでもあがるように、自分も力になれたらいいなと思っています。

使ってください校友会オリジナルマーク

使用規定に従っていただいたうえでご使用下さい。お問い合わせは、校友会事務局まで。

RYUKOKU UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

ラボこども英語 指導者募集中

（45才位までの女性）

子育てしながらもう一度、自分を輝かせる仕事があります。

「ラボ・テューター」になりませんか？

「仕事で使っていた英語を子育てにも生かしたい」
「自宅でわが子と楽しみながらできる仕事がしたい」
「学校とは違う楽しい英語環境を子どもにも与えたい」

そんなみなさんにぴったりの仕事です。

ラボ・テューターは絵本や物語を英語と日本語で楽しみながら、子どもの言語力・社会力・国際コミュニケーション能力を育む教育活動『Labo Party』の指導者です。

詳しい資料があります。今すぐには無理な方も、将来きっとお役に立ちます。少しでも関心のある方は資料をご請求ください。

同窓生特別キャンペーン

資料ご請求の方全員に『ラボ・パーティ紹介CD』をプレゼントします。

【英語の歌14曲、物語朗読2編他計40分収録】

全国各地で説明会開催中！ぜひお問い合わせ下さい。

資料のご請求方法　頂いた個人情報は、資料の発送およびにラボ・テューターに関する情報提供に利用させていただきます。

1 ホームページから
http://www.labo-party.jp
（Yahoo,Googleで「ラボ・パーティ」と検索）

2 携帯電話から
右記のQRコードからアクセス。
「きっかけ」欄に「龍谷」と入力ください。

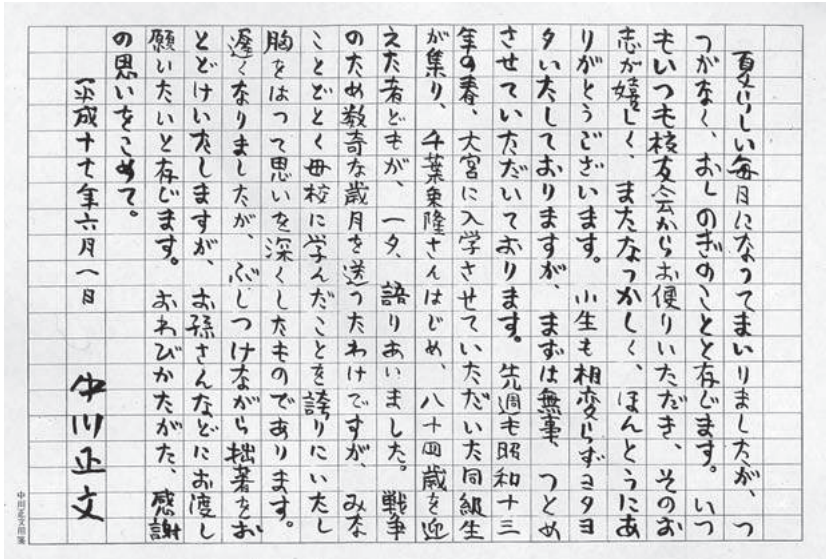
3 フリーダイヤルから
0120-808-743

ことばがこどもの未来をつくる
Labo Party Since1966
株式会社ラボ教育センター
〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル

追悼

中川正文さん

中川さんの手紙。母校で学んだことの誇りが記されている



夏がしい毎月になってまいりましたが、つつがなく、おしのぶのことと存じます。いつもいつも校友会からお便りいただき、そのお志が嬉しく、またなつかしく、ほんとうにありがとうございます。小生も相変らずヨタヨタい大しておりますが、まずは無事つとめさせていただいております。先週も昭和十三年の春、大宮に入学させていただいた同級生が集り、千葉東隆さんはじめ、八十四歳を迎えた者どもが、一夕、語りあいました。戦争のため数奇な歳月を送ったわけですが、みなことごとく母校に学んだことを誇りにいたし胸をはって思いを深くしたものであります。遅くなりましたが、ぶしつけながら拙著をおとどけいたしますが、お孫さんなどにお渡し願いたいと存じます。おわびかたがた、感謝の思いをこめて。

平成十七年六月一日　中川正文

児童文学者の中川正文さんが、昨年の10月13日に亡くなった。21年（大正10）奈良県生まれで、90歳だった。中川さんは41年（昭和16）に龍谷大学専門部を、戦争のため繰り上げ卒業して陸軍船舶輸送艇に乗船。終戦と共に46年に文学部国文学科へ入学。49年に卒業して京都女子大学に勤務し、教鞭をとる。影絵劇団「京都女子大学子どもの劇場」を主宰し、サントリー地域文化賞などを受賞した。

子どもと共に歩み 続けた児童文学者

その後、千里万博にあった大阪府立国際児童文学館の館長に就任。また伊藤整、遠藤周作と共に第1回アジア・アフリカ作家会議日本代表をつとめたことも。02年（平成14）には龍谷賞を受賞。

中川さんは亡くなる直前まで児童文学作品を書き続け、18歳ではじめて原稿料を手にして以来、およそ70年間にわたって児童文学と共に歩んだ人生だった。

龍谷大学校友会事務局には、6冊の中川さんの童話が保管されている。すべて中川さんが事務局を訪れた折りに寄贈していただいたもので、裏表紙にはご本人のサインが記され龍谷大学への想いを綴った手紙なども添えられている（写真）。

著書は数多く『ごろはちだいみょうじん』や『いちにちにへんとおるバス』『ねずみのおいしゃさま』などが今も読み継がれている。

倒壊家屋の柱で「腕輪念珠」

大震災ボランティアで東北と大阪の校友が連携

東日本大震災で倒壊した家屋の柱から、復興支援のちいさな「腕輪念珠」が誕生した。制作したのは東北と大阪の校友グループだった。

昨年夏、大阪府下在住の僧侶グループがボランティアとして宮城県亘理（わたり）町に入った。活動拠点となったのは、徳力賢隆さん（75年文卒・旧姓泉山）が住職をつとめる同町の浄土真宗本願寺派眞光寺だった。

ちなみに徳力賢隆住職の義父・義円さんは43年（昭18）専門部卒で、子息の義隆さんは文学部真宗学科2年生、親子3代にわたるいわゆる〝龍谷ファミリー〟である。

昨年夏のこと、亘理町へボランティアに入った大阪の僧侶グループの中から、大震災で倒れた家屋の柱で腕輪念珠ができないかというプランが出された。ただし、そのためには東北在住の協力者が必要である。運よく福島県相馬市の校友・只野澄夫さん（69年済卒）を知る校友がいた。連絡を受けた只野さんは、すぐに眞光寺の徳力さんのもとに出向いて、木材を入手し大阪へ送った。しかし、津波による塩害で、使用に耐えられる念珠ができないことが判明した。只野さんは再び亘理町の徳力さんのもとへ。その結果、家屋を支えていた固いケヤキの柱約150kgを入手する。只野さんが大阪へ車で搬入したのは、11月末のことだった。

これによって大阪の田毎宣隆さん（95年文卒）、井元秀典さん（92年文卒）津田隆志さん（85年短卒）、山内浩朗さん（93年文入学）らが中心となってこの企画が進められ、地元の仏壇店の協力を得て立派な腕輪念珠が完成した。その数は約300にのぼる。

チャリティーイベントで販売

復興支援のシンボルにもなるこの腕輪念珠には「想3・11」と記され、3月12日に大阪府富田林市の市民会館で開催される「大切なあなただから東日本大震災復興チャリティーイベント」で販売され、収益金はすべて復興支援にあてられる。このイベントには、歌で支援を続けるシンガーソングライターのやなせなさん（99年文卒）や、東北民謡の語り部・川嶋敏子さんらが出演する。

完成した腕輪念珠

亘理町での支援ボランティアから端を発したこの腕輪念珠は、東北と大阪の校友が力を合わせることで完成した。

「いつもつけていただくことで、私たちは東北を忘れないという想いにつながってほしい」と山内浩朗さん。今後も継続して腕輪念珠などによる復興支援が行われる。

後列が奨学生

校友会奨励生に12人

2月22日、「龍谷大学の発展のために」がテーマの論文募集で、校友会は以下の12人の学生に奨励金を授与した。宮本孝恵（文2）、木村美穂（文1）、矢野裕子（文1）、荒木美由紀（済3）、雨宮由佳（済2）、小野誠（済2）、中田和希（済2）、神野知之（営4）、上村崇人（営2）、黒田直樹（営2）、川本愛莉（国際3）。（数字は学年）

校友●Who's Who

三浦 明利さん

奈良県・光明寺住職で シンガーソングライター

三浦明利（みうら・あかり）＝2011年に龍谷大学文学研究科（真宗学）修士課程修了。在学中、バンドMoga Hoopで、全国規模のコンテストでグランプリ受賞。08年に浄土真宗本願寺派光明寺の住職に就任。11年7月には「ありがとう～私を包むすべてに～」でメジャーデビュー。龍谷総合学園記念曲作曲を担当。テレビ等のメディアでも活躍中。3月11日CD「被災地からのありがとう」を全国リリース。

仏教と音楽

私はお寺の一人娘として幼い頃から、楽しそうに活動する両親の姿を見てきたので、お寺にあこがれていました。だから仏教にずっと触れていたいという思いで龍谷大学へ。文学部では近代以降の仏教音楽の歴史がテーマでした。仲間と共に「Moga Hoop」というバンドを組んで活動し出したのも学部時代でした。

ところが大学院で仏教音楽を学んでいたときのことです。インドで起こった仏教が中国を経由して日本に渡ってきますが、仏教はいつも音楽と共にある歴史であったことに気付かされました。金子大栄さん（明治期の真宗大谷派学僧）は「光（しょう）と音楽は浄土の二大荘厳（ごん）」と述べておられるように、経典の中には、多数の音楽に関する記述が登場します。音楽と仏教は密接に関わり合うものなのです。

字は三浦明利さん

「ありがとう」の想い

昨年7月に「ありがとう～私を包むすべてに～」というCDでメジャーデビュー致しましたが、龍谷大学での学びがなかったら、今のように僧侶として歌うことはなかったと思います。仏教と音楽はきってもきれない関係にあることを学ばせてもらったおかげで、〝二足のワラジ〟ではなく、僧侶である私と、歌う私は一本の道であることに気づかされました。

3年前に住職にならせていただいて以来、ワクワクとした気持ちで毎日の月参りなどをさせていただいています。「自分の力でよくやった」と勘違いをしていた私がいました。しかし、仏教を聞かせていただく中で、ふと気付かせてもらったのは、私の今があることは、すべて私の力によるものではなかったということでした。

今、私がお坊さんとして何とかやっていけるのは、ご門徒さんや母、友人、そうした多くの人々の支えがあってこそだと思ったのです。さらに阿弥陀さまの大きな大きな願いに包まれています。そのことの一切を「ありがとう」という曲に込めさせてもらったのです。

自坊の光明寺本堂で三浦さん

世界中の人々へ

昨年のことです。仙台別院にある本願寺ボランティアセンターを通して私に一通の詩が届きました。詩の作者は、今回の大震災で津波被害を受けた宮城県名取市閖上（ゆりあげ）地区のある女性でした。その女性は「津波で何もかも流されてしまったけれど、日本中、いや世界中の人々が温かい支援の手をさしのべて下さったおかげで、私たちは笑顔になることができました。だから日本中、世界中の人々に被災地からの〝ありがとう〟を届けたいのです」とおっしゃいました。

彼女の自宅があった場所へ行きました。何もない砂漠のような被災地から、ポッと花が咲くように「ありがとう」という言葉が生まれてきたことに衝撃を受けました。昨年十二月、閖上の日和山の前で彼女を前にして「被災地からのありがとう」を歌わせていただきました。

被災地からのありがとうを、お届けするお手伝いができればと願っています。※CDは3月11日全国リリース

ご結婚おめでとうございます

校友会長名、学長名で祝電を打ちます。受付は、校友会事務局まで。

♠♥は校友同士の結婚

氏名	卒年	式月日
木村 雅樹	10 営	9-3
万野 清香	04 済	9-4
伊集院優美	08 短	9-10
宗田 健一	98 営	10-1
岡 理恵子	99 短	10-8
♠三浦 正剛	04 営	10-8
♥西村 祐子	04 営	10-8
本田 正恵	04 文	10-8
古川 将蔵	04 理	10-9
伊藤 順子	98 社	10-29
高柳 光男	87 営	11-3
♠静谷 祐輝	07 法	11-3
♥安川 真梨	08 短	11-3
佐々木寛典	00 営	11-5
中平 浩子	00 国	11-5
♠田中 達	05 文	11-5
♥田尾 仁美	05 国	11-5
藤津 智規	07 済	11-5
鈴木 亮	01 国	11-12
下川 幸恵	04 法	11-12
助田 千恵	08 文	11-19
石田 直幸	86 済	11-23
茂木 長武	98 文	11-24
月木 将裕	00 国	11-26
寺井 優美	05 文	11-26
山田 勇気	02 文	12-3
富崎 涼子	08 法	12-3
藤室あすみ	05 営	12-11
池田 有一	03 文	12-17
中島 香	06 法	1-21
♠橋本 昌樹	09 経	2-8
♥滝川 裕子	08 法	2-8
青山友香里	07 法	2-25
物部玲伊子	09 法	2-25

静谷祐輝さんと安川真梨さん

2012龍谷大学校友会　地域支部一覧

＜地域支部＞

支部	支部長名		連絡先				
北海道支部	海野 英爾	69・文	石井 伸和	事務局長	78・文	090-8425-1414	
東京支部	西來 武治	53・文	西來 武治	支部長	53・文	03-5386-8651	自宅
神奈川県支部	佐々木 俊博	74・文	佐々木 俊博	支部長	74・文	044-522-3252	神奈川県支部　事務オフィス
愛知県支部	八木 勇達	81・済	横井 昭	事務局長	76・営	052-852-3211	横井定（株）
富山県支部	青山 祐玄	63・文	筐　暢	事務局長	98・院了	090-3943-7366	富山別院
石川県支部	日野 幹丸	62・文	松浦 顕雄	副支部長	83・文	090-3766-5883	石川県立鹿西高等学校
福井県支部	藤原 有仁	70・文	馬場 正大	事務局長	86・文	0776-23-0321	学校法人北陸学園
岐阜県支部	坂口 祐紹	84・文	辻　信昭	事務局長	94・短	058-262-0231	岐阜別院内
奈良県支部	上野 道善	62・文	山本　潤	事務局	08・文	0742-33-6001	薬師寺内
三重県支部	望月　演（支部長代理）	62・文	東　和生	事務局長	74・文	059-229-6354	自宅
和歌山県・海南有田支部	山西　寛	71・済	宮井　功	事務局長	80・済	0737-62-2667	自宅
滋賀県・中主支部	福永 恵順	52・文	木村　優	事務局長	91・文	090-9544-0179	
大阪・枚方支部	田口 敬規	98・文	田口 敬規	支部長	98・文	080-3768-7056	枚方市議会議員
大阪・中央支部	山﨑 一夫	72・法	山藤 宗城	事務局長	69・済	090-8754-8289	
大阪・北大阪支部	堤　清貢	72・営	堤　清貢	支部長	72・営	080-2404-1536	
兵庫県・神明支部	廣橋 岳登	58・文	井藤 圭湍	事務局長	68・文	078-911-3755	自宅
兵庫県・姫路支部	菅　義成	58・文	菅　祐範	理事	96・文	079-236-2369	自宅
兵庫県・丹篠支部	酒井 勝彦	66・文	篠倉 庸良	事務局長	76・営	090-1582-2576	（株）ささめ針
鳥取県支部	衣笠 告也	75・文	西村 耕一	事務局長	97・社	090-4802-7887	
岡山県支部	佐々木 文麿	62・文	林　俊輔	事務局長	82・文	086-264-2801	岡山県立岡山芳泉高等学校
広島県支部	神鳥　誠	72・文	坂山 顕之	理事	96・短	082-231-0302	広島別院内
山口県支部	藤谷 光信	60・文	羽嶋 豪太郎	事務局長	73・法	0834-62-5012	自宅
香川県支部	鎌田 紀夫	55・文	三野 正博	事務局長	91・法	090-6881-8838	
愛媛県支部	嶋　潔	77・営	松本 正見	事務局長	97・文	089-931-5773	西法寺
徳島県支部	細川 浄忍	54・文	来見 明信	事務局長	72・文	088-625-3690	自宅
高知県支部	岡崎　豊	80・法	壬生 邦昭	事務局長	80・法	090-9459-5637	
大分県支部	大在 淳空	58・文	高尾 正音	事務局長	88・文	0973-24-8065	自宅
鹿児島県支部	岡野 龍信	81・文	岡野 龍信	支部長	81・文	0996-56-0337	本龍寺
熊本県支部	黒田 宏信	71・文	高千穂 哲也	事務局長	87・文	096-322-7715	仏厳寺

＜海外支部＞

支部	支部長名		連絡先	
ハワイ	松本 エリック達雄	91・院了	校友会事務局	075-645-2015
南カリフォルニア	中垣 紘道	62・文		
北カリフォルニア	小杭 好臣	62・文		

＜職域支部＞

支部	支部長名		連絡先				
パナソニックグループ（紫松会）	丸山 竹司	76・法	丸山 竹司	支部長	76・法	06-6334-6675	自宅
寝屋川市市役所（紫友会）	岡本 和博	81・法	岡本 和博	支部長	81・法	072-824-1181	寝屋川市役所内
尼崎市市役所支部（龍翔会）	今村 博史	80・法	高木 健司	事務局長	91・法	06-6429-3042	尼崎市立青少年センター内　児童課
門真市市役所支部（紫門会）	松下　司	77・法	松下　司	支部長	77・法	06-6902-1231	門真市役所
マスコミ OB 会	乾　勉	72・済	田中 岳志	事務局長	92・済	080-2362-7036	
職業会計人グループ（RAS）	尾崎 春樹	71・営	尾崎 春樹	支部長	71・営	075-645-1601	自宅
矯正施設支部（ぎんなん会）	畠山 晃朗	64・社	山本 雄一	事務局長	94・法	072-233-3326	大阪少年鑑別所内
教誨師・篤志面接委員（桐友会）	吉光 宏昭	60・文	吉光 宏昭	支部長	60・文	06-6302-7950	自宅

＜学部同窓会＞

学部	同窓会会長		学内窓口担当者		学内窓口
文学部・短期大学部	釋　晃	60・文	若林 雅子	00・文	校友会事務局 075-645-2015
経済学部	湯口　博	69・済	山川 剛史	99・済	
経営学部	阪口 新太郎	76・営	松尾　修	87・営	
法学部	町田 徳男	80・法	村上 孝弘	86・法	
理工学部	木林 哲正	94・理工	内田 順子	98・理工	
社会学部	荒川 林太郎	93・社	乗金　悟	02・社	
国際文化学部	神先 明日香	00・国	山内 めぐみ	01・国	

2012年度龍谷大学校友会行事〈予定〉

大学・各学部同窓会主催行事も含む
詳細は随時、校友会ホームページでご案内しています。

	日時	区分	イベント内容	場所
2012年	4月13日(金)	大学・校友会本部	新入生ふるさとタイム	深草キャンパス
	4月13日(金)	大阪・北大阪支部	第３回北大阪支部ゴルフコンペ	茨木国際カントリー
	4月21日(土)	尼崎市役所支部(龍翔会)	龍谷大学関連施設視察ツアー	龍谷大学キャンパス・龍谷ミュージアム他
	4月28日(土)	大阪・北大阪支部	ドイツワイン試飲会	茨木市ヘレンベルガー・ホーフ(株)
	4月	北海道支部	公開講演会	未定
	5月11日(金)	ハワイ支部	パシフィク　ブディスト　アカデミー卒業式	Japanese Cultural Center of Hawaii
	5月12日(土)	和歌山・海南有田支部	総会・懇親会	かどや食堂
	5月20日(日)	大阪・北大阪支部	降誕会(本願寺参拝・龍谷ミュージアム見学・祝賀能)	西本願寺
	5月21日(月)	校友会本部	校友会賞授与式	深草　顕真館
	5月25日(金)	兵庫県・丹篠支部	総会	丹波市柏原町「喜作」
	5月26日(土)	奈良県支部	総会・講演会・東大寺ミュージアム見学	東大寺・東大寺ミュージアム
	5月26日(土)	東京支部	総会	築地本願寺
	5月26日(土)	大阪・中央支部	総会	大阪　北御堂津村別院津村ホール
	5月27日(日)	三重県支部	総会	三重県名張商工会議所「アスピア」
	5月	寝屋川市役所支部(紫友会)	総会	未定
	5月	北海道支部	総会	未定
	6月　3日(日)	愛知県支部	総会・講演会・懇親会	名古屋市　ウィンク愛知
	6月　9日(土)	神奈川県支部・ハワイ支部	～13日：ハワイ支部交流訪問・情報交換会	ハワイ：ホノルル
	6月　9日(土)	岐阜県支部	～10日：古都奈良文化財巡り	奈良：薬師寺・唐招提寺
	6月11日(月)	ハワイ支部	龍谷大学校友会員親睦ゴルフ大会	ハワイ：パールリッジ カントリークラブ
	6月12日(火)	ハワイ支部・神奈川県支部	総会・ハワイ支部10周年祝賀会・神奈川県支部交歓会	ハワイ：ホノルル　アラモアナホテル(予定)
	6月14日(木)	教誨師・篤志面接委員支部(桐友会)	総会・研修会・意見報交換会	奈良　浄教寺・ホテル藤田
	6月16日(土)	大阪・北大阪支部	奈良古都巡り	奈良
	6月23日(土)	神奈川県支部	総会・講演会・懇親会	横浜ワークピア(予定)
	6月	香川県支部	総会	高松市内(未定)
	7月　7日(土)	職業会計人グループ(RAS)	龍谷大学校友会・無料税務相談室	深草キャンパス
	7月　7日(土)	経営学部同窓会	経営学部在学生奨学助成金制度面接・選考会	深草キャンパス
	7月28日(土)	岐阜県支部	総会・講演会	ホテル　グランヴェール岐山
	7月中旬	和歌山・海南有田支部	出前講座	和歌山県立耐久高校
	7月中旬	山口県支部	総会	周南市
	8月　4日(土)	大阪・北大阪支部	～5日：高槻祭出店	高槻市
	8月11日(土)	南カリフォルニア支部	屋外ブランチ親睦会	FRIENDLY HILL COUNTRY CLUB
	8月9日～14日	法学部同窓会	第27回ドイツ・ロマンチック街道ツアー	ミュンヘン・オーストリア方面
	8月24日(金)	愛知県支部	納涼会	名古屋市アサヒスーパードライ名古屋
	8月	大阪・中央支部	第３回　キッズサンガ子ども工作教室	大阪　北御堂津村別院津村ホール
	9月　1日(土)	大阪・北大阪支部	納涼祭	茨木：ミュンヘン
	9月　1日(土)	愛媛県支部	総会・懇親会	光月亭
	9月15日(土)	法学部同窓会	法学部合同同窓会設立40周年記念式典	宝塚大劇場・宝塚ホテル
	9月17日(月・祝)	兵庫県・姫路支部	総会・講演会・懇親会　ゲスト(やなせなな)	姫路市　キャッスルホテル
	9月19日(水)	校友会本部	9月度卒業生・修了生入会歓迎祝賀会	深草キャンパス
	9月	福井県支部	総会・懇親会	未定
	10月　7日(日)	大阪・北大阪支部	総会	茨木市役所　スカイホール
	10月13日(土)	大阪・北大阪支部	落語会(林家染二独演会)	大阪　御堂会館
	10月15日(月)	南カリフォルニア支部	物故者追悼法要・親睦会	ORANGE 仏教会
	10月19日(金)	大阪・北大阪支部	第４回　北大阪支部コンペ	新大阪カントリー
	10月27日(土)	社会学部同窓会	社会学部　卒業15周年のつどい(1998年度卒者対象)	瀬田キャンパス
	10月27日(土)	国際文化学部同窓会	総会・「卒業生・恩師の集い」(予定)	瀬田キャンパス
	10月27日(土)	大学	ホームカミング・デー	瀬田キャンパス
	10月	大阪・中央支部	第２回　本町音楽祭 IN 北御堂	大阪本町北御堂津村別院津村ホール
	11月　3日(土)	校友会本部	第28回全国支部長会	京都ロイヤルホテル＆スパ
	11月　4日(日)	大学	ホームカミング・デー	深草キャンパス
	11月　4日(日)	校友会本部	校友会　総会・龍谷賞授賞式	深草キャンパス　顕真館
	11月23日(金・祝)	神奈川県支部	望年会(ボーリング大会・懇親会)	未定(後日 HP にて告知)
	11月	大阪・北大阪支部	5大学(龍大・関大・関学・同志社・立命)対抗親睦ゴルフコンペ	関西カントリークラブ
	11月	寝屋川市役所支部(紫友会)	京都散策	京都
	12月	北カリフォルニア支部	総会・懇親会・龍大語学留学生との交流会	バークレー浄土真宗センター
2013年	1月20日(日)	大阪・北大阪支部	新年会	総持寺：がんこずし
	1月	東京支部	新入会員歓迎＆年賀会	NHK青山荘
	2月24日(日)	社会学部同窓会	社会学部同窓会設立20周年記念式典	京都市内(予定)
	2月	教誨師・篤志面接委員支部(桐友会)	17日または21日　研修会	三重県刑務所・宮川医療少年院
	2月	教誨師・篤志面接委員支部(桐友会)	18日または22日　施設参観	三重県刑務所・宮川医療少年院
	3月14日(木)	各学部同窓会	新入会員歓迎パーティー(文・短・済・営・法)	各学部により異なります
	3月15日(金)	各学部同窓会	新入会員歓迎パーティー(理工・社・国)	各学部により異なります

校友短信

登世岡浩二さん タイ王室から児童支援で表彰

タイで受賞した登世岡さん

広島県の安楽寺前住職で校友会広島県支部事務局長をつとめる登世岡浩二さん（52年文卒）が昨秋、タイ王室の「マヒドン・ワラヌソーン賞」を受賞した。この賞は社会活動などに貢献した人に贈られるもので、日本人の受賞は3人目。登世岡さんは94年（平6）からタイ北部農村の貧困児童の就学支援に着手し、06年から10年には広島日タイ友好協会会長として活躍した。

同協会による寄付金は昨秋までで約6千万円、支援した児童は約1500人にのぼる。「私というより協会として頂いた賞。募金して下さった多くの方々、各種団体のおかげです。今後も活動していきたい」と登世岡さん。

指方恭一郎さん 書き下ろし歴史小説を次々発表

一昨年、城山三郎経済小説大賞を受賞した指方（さしかた）恭一郎さん（85年文卒・本名＝日野真人）が昨年5月、『銭の弾もて秀吉を撃て』（ダイヤモンド社）でデビューすると共に、次々と書き下ろしの歴史小説を発表している。

昨年秋から文春文庫の「長崎奉行所秘録・伊立重蔵事件帖」シリーズとして9月には『麝香（じゃこう）ねずみ』（写真）、10月には『出島買います』、12月には『砂糖相場の罠』の3冊（定価610～620円税込）が発刊された。

『麝香ねずみ』（文春文庫）

このシリーズは主人公である長崎奉行所の与力格・伊立重蔵が奉行所の特命により、当時唯一の海外交易拠点だった長崎に潜入して事件や謎をあばくというもので、北九州在住の指方さんならではの作品。

羽溪 了さんの「異邦人」が「日展」で特選

昨年10月から12月にかけて開催された日本最大の総合美術展「第43回日展」の日本画部門で、羽溪了（たに）さん（84年文卒）が初の特選を受賞した。羽溪さんは高校時代から日本画をはじめ、堂本印象画伯の門下生による「東丘社」に所属し、88年（昭63）に「日展」初入選をはたして以来、数々の作品に取り組んできた。

今回、特選となった「異邦人」についての審査所感には「世界中が閉塞感漂う今日此の頃、老人が夕暮れの教会をバックにワイングラスを持ち、何か言いたげな表情が良く描かれている」（は）と評されている。

特選作品の「異邦人」

池永悠紀雄さん 関西六大学野球連盟理事長に

関西六大学野球連盟の常務理事の池永悠紀雄さん（63年文卒）が今年の1月1日付けで、同連盟の理事長に就任した。龍谷大学の職員時代、硬式野球部の01年（平13）秋期リーグで、足立兼敏監督（72年文卒）にかわって監督代行をつとめた経験がある。その年、見事に優勝を果たした。

池永さんは高校、大学と野球の経験はないが、野球部長として長年チームを支えてきた実績がある。野球部員である前に、まず立派な大学生になってほしいというのが、池永さんのモットー。関西六大学から大学野球日本一のナイン誕生が期待されている。

池永さん

法学部同窓会40周年 特別企画　第2弾

ドイツ・ロマンチック街道とミュンヘン 6日間の旅

2012年8月9日（木）～8月14日（火）
関空発着：6日間。
お一人 185,000円（予定）
（燃料チャージ・空港税別）
ホテル＝スーペリアクラス
12日夜は同窓会主催晩餐会予定。
必ず HP で詳細を確認下さい。（4月中旬アップ予定）
申込み・問合せ＝JTB 西日本 京都法人部（担当・村川）
Tel.＝075(365)7723

深草キャンパス開設50周年を祝う

写真右から赤松学長、門川京都市長、橘龍谷大学理事長、京都府知事代理、西本経済学部長

龍谷大学では昨年、深草学舎開設・経済学部創設50周年を迎えた。11月6日、顕真館で記念式典と講演会（世界の中の日本＝中谷巌氏）を開催。祝賀会ではOB教員など懐かしい顔ぶれが並び、互いに50周年を祝い合った。

文学部 短期大学部 同窓会

ホームページ完成 クラスやゼミ同窓会をHPに掲載

文学部・短期大学部同窓会のホームページが完成した。会長挨拶や役員名簿・会則・同窓会の活動、クラスや学年別同窓会の報告、同窓会への助成金制度とその申請方法、施設利用案内など、もりだくさんの内容で、同学部の卒業生にとってはうれしいニュースだ。龍谷大学校友会のホームページにもリンクしている。これまで校友会報で掲載されてきたクラス、ゼミ、学年の同窓会報告は、このホームページに掲載される。

文・短同窓会のホームページ

http://www.ryukoku-buntan.jp

経済学部同窓会

瀬田で少年野球大会 カルガリー大学との交換留学生を支援

経済学部同窓会では昨年の12月4日、恒例となった宝ヶ池ブロック少年野球対抗交流大会（経済学部同窓会長杯）を瀬田球場で開催した。この日は多くの龍谷大学硬式野球部員が、少年たちを指導した。

また経済学部同窓会では、龍谷大学とカナダの名門校カルガリー大学との協定にもとづく交換留学生のサポートを行っている。具体的にはカルガリー大学へ留学する龍大生と、カルガリーからの留学生に対して奨学金を贈り、充実した留学になるよう支援している。

員向けご案内」をご覧ください。

※公式Facebookページ開設

法学部同窓会

同窓会設立40周年で 9月に宝塚大劇場 貸切り観劇と祝賀会

今春に設立40周年を迎える法学部同窓会では、9月15日（土）に宝塚大劇場（定員2700人）を借り切って観劇、そのあと宝塚ホテルで祝賀パーティーを開催する。詳細は法学部ホームページを参照するか、本会報に同封の「法学部同窓会会

社会学部同窓会

同窓会20周年で 来年2月24日 京都市で祝賀会

社会学部同窓会が来年で20周年を迎える。そこで13年（平成25）2月24日（日）、京都市内の大手ホテルで20周年記念祝賀会が開催される。

地域支部の集い

徳島県支部　総会 講演会・懇親会開催

徳島県支部では10月2日に11年度（平23）の総会を、徳島市内の笹乃庄（校友経営の日本料理店）で17時から開催した。

続いて龍谷大学社会学部の李相哲教授を講師に「北朝鮮問題と東アジアの今後を読む」と題した講演会を開催。

そのあと懇親会となり「樹徳寮歌」が披露されるなど、大いに盛り上がった。

なお、この総会、講演会の案内は徳島新聞にも掲載された。

大阪・中央支部

津村別院で第1回 本町音楽祭を開く

11年10月9日大阪・中央支部では、初めての試みとして「本町音楽祭」を開催した。当日は晴天にめぐまれ、また「御堂筋カッポ」（歩行者天国）の開催日でもあり、約40万人の人出があった。この人出の好機をとらえ、龍谷大学の宣伝を兼ねて今回の催しを開催した。演奏は龍谷大学卒業生や関係者で、演奏内容は、日頃聞く機会のないチェンバロ演奏に始まり、音楽、JAZZコンボ演奏、そして最後は迫力満点のビッグバンド演奏で締めくくっていただいた。ホール一杯のお客様からアンコールがかかるなど、ビッグバンドを満喫していただいた。龍大の校友会はこうした催しもあるのだと感じていただけた。

出演者の皆様をはじめ、別院前にて音楽祭のチラシ配りをしていただいた方々に御礼申します。（山崎支部長記）

北カリフォルニア支部

総会とバークレーで 龍大留学生と交流会

北カリフォルニア支部では11年12月8日、バークレー浄土真宗センターで留学生支援の集いを開催しました。同センターには龍谷大学のオフィスがあり、25名ほどの龍大生が英語を学んでいます。そこで、勉強を頑張っている後輩たちを応援しようということで、支部の総会と懇親会の機会に留学生との交流会もちました。

交流会ではスタンフォード大学日本語講師の斉藤百恵氏（99文卒）が学生のためにスピーチをし、その後食事をしながら歓談となりました。校友会員特製のカレーとおでんをふるまったところ、学生達はひさしぶりの日本の味を口にして、とても喜んでくれました。後輩の龍大生のためになることができ、たいへん実りのある会となりました。（古本竜太）

バークレー浄土真宗でのスピーチを聞く留学生

奈良龍大会

西本願寺参拝と龍谷ミュージアム見学

昨年12月11日、奈良龍大会（校友会奈良県支部）が懇親交流会を行った。まず午後2時から親鸞聖人750回大遠忌法要開催でにぎわう西本願寺御影堂を参拝し、国宝の書院や能舞台、飛雲閣を拝観したあと、昨春オープンした龍谷ミュージアムに入館し、開館記念の「釈尊と親鸞」展を見学しました。

その後、会場を校友のお店（料理処はな＝左京区川端二条上ル）に移して懇親会を開催し、約40人の校友が食事をとりながら談笑しました。

国宝飛雲閣で

東京支部　第3回 新会員歓迎と校友 年賀会を青山で

龍谷大学校友会東京支部では第3回新会員歓迎&校友年賀会を1月19日、NHK青山荘で開催しました。校友会の三村峯男会長、村上太胤副会長、湯口博副会長、龍谷大学東京オフィスの橋本正義室長など来賓のご列席のもと46名の校友が集いました。

西來武治支部長、来賓の方々の挨拶に続き、ご縁の会幹事・久保智弘さん（98年文卒）の発声で乾杯、美味しい食事を囲んでの歓談、「東京支部恒例一人一分〝円陣自己紹介〟」を行いました。

この後、ゲストイベントとして昨年第22回龍谷奨励賞を受賞した水中写真家の鍵井靖章さん（93年法卒）に、目にも鮮やかな色彩の映像で世界各地での作品や活動紹介していただきました。最後に、元応援団の小寺卓史さん（69年済卒）の前口上で逍遥の歌、学歌を全員で斉唱し、名残りを惜しみながら会を締めていただきました。

また、多くの校友の皆さまから素敵な福引の景品を提供いただきましたこと、心より御礼申し上げます。（東京支部年賀会実行委員　山田浄行）

ハワイ支部10周年で 交流会。神奈川県支部 広く校友へ呼びかけ

・集合場所＝ハワイ・オワフ島の本願寺ホノルル別院（参加者は6月9日中に各自ホノルル着）。

・交流スケジュール＝6月10日朝にホノルル別院日曜礼拝参拝。11日は校友会員他とのゴルフコンペ。6月12日＝ハワイ支部10周年祝賀会。

・参加申し込み＝3月末まで校友会神奈川県支部長の佐々木俊博さん

申込書は神奈川県支部のホームページから印刷可。

職域支部の集い

龍翔会　3キャンパス ツアー参加者募集中！ バスで4月21日に

校友会職域支部の尼崎市役所「龍翔会」が以下の要領でバスツアーを行う。参加希望の校友はふるってお申し込みを。

〈開催日〉4月21日(土)

〈集合〉尼崎市役所本庁西側の点滅信号前に8時45分

〈対象〉尼崎市在住もしくは勤務の校友。

〈募集人数〉約40人。多数の場合は厳正なる抽選を行い、当選者のみご連絡いたします。

〈行程〉尼崎市役所→西本願寺→大宮・深草キャンパス→瀬田キャンパス→尼崎市役所17時解散。

〈参加費〉2千円。昼食代含む。※当日現金で徴収いたします。

〈申込方法〉官製ハガキで住所・氏名・勤務先・電話番号。卒業年度と学部を記入のうえ左記へ。4月10日必着。

〒661-0025尼崎市立花町3-6-13-103 龍翔会・高木まで。

校友のための「無料税務相談室」7月開催

校友のための「龍谷大学校友会・無料税務相談室」を下記の要領で開設します。

〈日時〉2012年（平成24）7月7日（土）午後2時～5時。

〈場所〉龍谷大学深草キャンパス内にて。

〈担当〉校友会職業会計人グループRAS（龍大卒の税理士）。近畿税理士会所属会員。

〈予約〉7月5日までの事前予約。

連絡先（事務局）＝尾崎春樹税理士事務所

☎075・645・1601

なお、税理士法により守秘義務が課せられており、将来にわたりあなたの相談内容を他に洩らすことはありません。

〈回答〉原則、口頭による一般的な説明。税理士（税理士法人）に依頼されている方は、当相談室をご利用いただけません。

今春に定年退職される先生

2012年3月31日

〈文学部〉
市村　卓彦教授
海谷　則之教授
岡崎　晋明教授

〈経済学部〉
河村　能夫教授
高田　美徳教授
寺田　宏洲教授

〈法学部〉
桂　文子教授
武久　征治教授
平野　武教授

〈理工学部〉
西原　弘訓教授
堀川　武教授

〈社会学部〉
大友　信勝教授
川田　譽音教授

仏教に学ぶ

龍大卒業生に息づく建学の精神のDNA

浄土真宗本願寺派
光善寺住職
松山 善昭

松山善昭（まつやま・ぜんしょう）＝27年（昭和2）生まれ。48年（昭和23）文学部真宗学科卒業。指導教授は実父の吉田哲哉さんと同期の桐溪順忍教授（21年本科卒）。卒業後宮城県立第二工業高校や仙台女子高校の定時制教員をつとめながら、東北大学大学院の東北文化研究室で約10年間、東北地方への真宗の伝播を研究。本願寺派東北教区教務所長、仙台別院輪番を歴任し、教誨師歴は56年に及ぶ。

震災被害の中で

このたびの大震災で福島県の太平洋沿岸の地域は大きな被害を受けました。相馬市、南相馬市、飯舘村、双葉郡の双葉町、浪江町、大熊町、富岡町で構成される「相馬組」という本願寺派（西本願寺）の地域ブロックがあります。この相馬組には10ヶ寺あり、被害が少なかったのは3ヶ寺のみでした。とくに海岸沿いの原釜、松川浦、岩ノ子、磯部地区一帯の津波被害は夥しく、町はまことに無残な姿に化しました。

津波だけではありません。浪江町の正西寺（真宗大谷派）で住職をつとめる私の次男（小丸真司さん）は、家族と共に放射能汚染で着の身着のまま避難所に移りました。三男（細川雅美さん＝81年文卒＝旧姓・松山）が住職の宮城県石巻市門脇町の称法寺では、周辺の家屋がことごとく流され、本堂などの屋根と枠組みだけが、かろうじて瓦礫の中にポツンと建っているという状況です。三男は地元に一人残り、復興に立ち向かっています。

こうした中、いち早く西本願寺や龍谷大学のOBが動いて下さいました。地震発生直後に西本願寺では緊急災害対策本部を立ち上げ、3月17日には本願寺の仙台別院に東北教区災害ボランティアセンターを設置して、さまざまな支援活動を始めていただきました。石巻市の三男の家族を車で安全な地に移送して下さったのも、同センターの方々でした。

また、4月8日には本願寺派宗務総長で龍谷大学理事長の橘正信さん（70年文院卒）が、7月9日は相馬組の大震災総追悼法要では、大谷光真ご門主がお越しになり、励ましのご法話をして下さいました。本当にありがたいことです。

今、相馬組の組長をしている長男（松山善之さん）は、津波と原発事故により、住職やご門徒さんが散りじりばらばらになり、相馬組はこれからも存続できるだろうかと、心を痛めています。

昨年7月、相馬での大震災層追悼法要（写真提供＝本願寺出版社）

北陸門徒が相馬へ

ところで相馬は、東北では珍しく浄土真宗のお寺が多い地域です。その理由は天明年間（1781～88）に関東や東北を襲った近世最大の飢饉でした。冷害によって10万人をこえる餓死者が出たと言われ、人口激減の相馬藩は移民政策をとり、北陸から真宗門徒や僧侶を呼び寄せます。真宗門徒は結束力が強く、決して新生児を間引きしなかったからだと考えられます。

文化10年（1813）から約30年間で9千人もの北陸門徒が、相馬藩に移住したと言われます。ですから現在の相馬・南相馬・双葉のご門徒さんは、私たちの先祖は今から200年前に北陸からやってきたという共通認識のもと、私たちには、お念仏をよろこぶ北陸門徒のDNAがあるのだという思いが強くあります。母校で言えば、建学の精神というDNAです。「龍谷大学の人たちは、本当につながりが強いね」と、長男が話してくれました。長男は東京のある大学を出ています。

瓦礫の撤去と共に先祖のお墓がいち早く修復された（南相馬市）

龍谷大学の学生さんたちも、ボランティアバスで京都から駆けつけ、三男がいる石巻の称法寺周辺の瓦礫撤去などの支援活動をしてくれています。昨年の12月初旬で、すでに5回もバスで学生さんたちがきて下さったと聞いています。

今、「共生」こそ

今回の大震災を評してある著名な方が「災害にあったのは天罰」と言ってひんしゅくをかいました。この世での一切の事柄は、網の目のように張りめぐらされた因（原因）と縁（条件）によって起きると、仏教は説きます。この世は流転無常の世界です。あらゆる物事は人間の思い通りにはいかないと捉えるのが、仏教の基本です。

「倶会一処」という言葉が、「阿弥陀経」に出てまいります。倶にひと処に会うという意味です。「ひと処」とは仏国土です。息子たちは今、お寺こそが「地域の灯台」となって、散り散りばらばらになった人々が、以前のように共に集いあえる場所にしたいと話しています。

近年、龍谷大学では建学の精神を「共生」という言葉で表していると聞きました。遠い東北の地で、多くの龍大関係者の皆さんが、必死になって被災地を支援して下さっている。「共生」ですね。私は今回の大震災の被災地に住む一人の校友として、これほど龍谷大学の建学の精神を頼もしく思えたことはありませんでした。北陸の念仏者をルーツとする相馬のご門徒さんがたと同じように、私たち卒業生も龍谷大学の「建学の精神」というDNAを、等しく共有しているのだと、このたびの震災を通して再確認させていただきました。

編集後記

昨年の11月から12月にかけて、大震災で被害をうけた現地に取材に行きました。東北の地で多くの龍大関係者の皆様が、復興に向けて献身的な支援活動をされている事実を目のあたりにし、龍谷大学の建学の精神「共生」が息づいていることを改めて認識すると共に、龍谷大学の人と人とのつながりの強さを実感いたしました。その一端を、本号で紹介させていただきました。

さらに今年から、新卒校友会員（同窓会員）の皆様に、校友会の活動を理解していただき、卒業後も龍谷大学や校友会への帰属意識を深めていただくため、「校友会報3月号」と「校友会ハンドブック」を、卒業式当日にお渡しいたしました。

これまで新卒者への「校友会報」送付は、10月号からで、校友会の案内も一枚の見開き型パンフレットでした。この点も25ページの冊子型「ハンドブック」にして、より一層、校友会を身近に感じていただけるように刷新いたしました。

国内外で16万人（3月末）をこえる多くの先輩たちが活躍しています。新入会員の皆様には、どうぞ安心して校友会、各学部同窓会、校友会支部をご利用いただくよう、お願いいたします。

活躍する卒業生情報を校友会へお知らせ下さい

校友会では文化、芸術、芸能、学術などの分野でご活躍の校友、さらに企業や団体のトップ、地域行政の首長や議員、校友がオーナーのお店の情報を集めています。ご存知の校友は、下記まで。

龍谷大学校友会事務局
〒617-8577京都市伏見区深草塚本町67
校友会メールアドレス：
koyu@ad.ryukoku.ac.jp
校友会のHP
http://www.ryukoku.ac.jp/alumni/index.php
よりお入り下さい。
☎075(645)2015　FAX:075(645)2017

校友のお店

味処 船場

多彩な和食メニュー なにわ」の味を満喫 「船場鍋」は要予約

来年で創業50周年を迎える「味処船場」。三代目の藤井真介さん（01年法卒＝上田勝美ゼミ）が店長として腕をふるう。

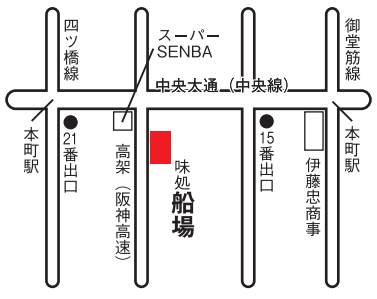
藤井真介さん

店に入るとテーブル席とカウンター席が並び、奥に座敷という配置で40人が坐ることができる。和食をベースにした多彩なメニューが際立つ。昼は日替わり定食、焼き魚定食、トンカツ定食（各650円）や船場弁当（600円）など8、9種。

夜のメニューは①お造り②揚げもの③焼きもの④鍋ものが中心で、カンパチ造り（600円）、レンコン天ぷら（400円）、さわら塩やき（600円）、湯豆腐（600円）、寄せ鍋（900円）。「鍋ものコース」は事前予約が必要で、船場名物の鯨のハリハリ鍋（4千円）、活てっちりやクエ鍋コース（6千円）、おまかせ宴会コース（2千5百円から）、寄せ鍋や海鮮ちゃんこ鍋コース（4千円）などで、プラス千5百円で飲み放題。

また、旬の食材を使った「本日のオススメ」も人気がある。カキフライ（600円）、地どり黒こしょう焼き（600円）、ふぐ湯引き（500円）など数種。

上＝カンパチ造り
中＝レンコン天ぷら
下＝サバきずし

その他、馬刺し（800円）、牛スジ肉のどて焼き（600円）、じゃこ天（300円）、冬場のおでんは（各100円）、やきそば・とんぺい焼き（500円）なども美味でリーズナブル。近くに北御堂や南御堂もあり、交通の便がいい。ゼミやクラスの同窓会などにうってつけのお店だ。

「味処・船場」
大阪市中央区久太郎町4-2-5中甚ビル1F
☎06-6251-0800
営業時間＝昼は11時半～14時。夜は17時～22時。休日は日・祝日と毎月8日。土曜日は夕方のみ要予約。大阪市営地下鉄御堂筋線本町駅15番出口か四ツ橋線本町駅21番出口すぐ。40人収容可。鍋ものは要予約。